



○ おとのさま

昔、教員として採用されたばかりの若かりし頃、中学校3年生の副担任として進学先(受験先)の高等学校等へいろいろな書類を届けるためのあて名書きをたくさんしていました。その頃は「〇〇高等学校長殿」と表現していたように記憶しています。それがいつごろからか、「〇〇高等学校長様」と表現するようになりました。かなり個人的な意見ですが、私は筆で書くときなどは特に「殿」の方が書きやすいと思っていました。縦書きで最後に「殿」を書くとおさまりがいいのです。「様」は二画目の縦線と十画目の縦線がよく斜めになってしまい、納得できず書き直すこともありました。現在は「殿」を使うことはほとんどなくなり、年賀状のあて名書きでは幼い子どもでも「様」を付けて書いています。「様」を筆で書くことにも慣れてきました。

上記とは違う視点です。「殿」と「様」の使い分けはどうすればいいのだろう。どちらがより望ましいのだろうというようなことを考え始めたら気になってきました。そこで検索して調べてみるとかなり分かりました。その使い分けなどをここで説明することは省略します。検索中にはそのほかの敬語などが目に留まりました。「お前」や「貴様」などです。話し言葉で使うと相手を見下しているように受け取られそうです。ことばは年月とともに変化していきますので、受け止め方も変化していくのでしょうね。最後に思ったのは「お殿様」というのはすごい表現のことばだなということです。

さて、次は「君」と「さん」です。自分の出身中学校で教育実習をする初日に生徒をどう呼ぶか少し困った私は、男女関係なく皆「君」付けで呼んでみました。すると生徒たちから「先生、変!」という反応が返ってきました。それから男子は「君」女子は「さん」と呼びましたが、できることなら「さん」に統一するほうが望ましいようですね。もちろん受け止め方は千差万別ですから“絶対”ということはないと思います。今この文章を読んでいただいている方も検索して調べてみると面白いですよ。

○ YIC 食堂

食堂は4回目です。メインメニューは「とりすき」でした。「優しい味で美味しかったです。」というような声をかけていただきました。小さな子どもさん対象で箸置きプレゼントもしました。受け取ったときの笑顔が大変かわいらしかったです。来週のYICカフェで今年度の開店が終了となります。



○ 自校自費

食堂満席、盛況!